

令和元年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業（研究協議会）」  
第2回 検討会2

議事録

- 1 日時 2019年9月18日（水）16:00～18:00
- 2 場所 日本女子会館 We learn  
東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館ビル5階
- 3 出席者  
小園弥生、桜井陽子、柴田美代子、竹原正篤、谷口年江、山屋理恵、花岡ナオミ
- 4 配布資料
  - ①ヒアリング報告 ウィメンズネットこうべ（WACCA）
  - ②WACCA チラシ
  - ③ヒアリング報告 尼崎市女性センター
  - ④ヒアリング報告 慈有塾

4 議事

- (1) 視察・ヒアリング調査の報告、意見交換 16:00～17:00
  - ・慈有塾 9月2日（月）、16日（月）竹原、柴田
  - ・ウィメンズネットこうべ 9月5日（木）小園、山屋
  - ・尼崎市女性センター 9月6日（金）谷口、花岡

各々約15分の報告の後、意見交換をおこなった。

報告内容は2019年度特設ページにて公開するため、2800字程度（40字×37行×2枚、写真2～3点）にまとめ、事務局へ提出。作成にあたっては、かならずヒアリング先に内容確認をして掲載可能の承諾を受けること。締め切りは後日事務局より連絡する。

- (2) プログラム構成要素、連携先等についての検討 17:00～17:30

検討会2の最終目標である「困難な状況にある女性のための学び直しプログラムのモデル化」にむけて、次回以降の予定を組み直した。今回と第3回検討会にてプログラムモデル化への検討を行い、予定していた有識者のヒアリングは、作成したモデル案へのコメントをいただくことに変える。(3)(5)参照。

以下、プログラム構成要素、連携先等に関する意見。

- ・前提は、男女共同参画センター（以下センター）が実施するのに、妥当で現実的な内容とする。センターとNPO等民間団体との相違を意識する。
- ・センターは、個別対応・相談だけでなくグループづくりができることがメリットだが、学び直しは、受講者のニーズ、習熟度等が幅広いので、民間が行っているようなていねいな個別対応も必要となる。
- ・個別対応は、手間とお金がかかるが、センターの現状ではいずれも十分ではない。
- ・困難な状況下の対象者は、実利的な魅力がなければ、わざわざ時間を作っての参加は難しいのでは。啓発的な講座だけやってもダメで、特別な仕掛けが必要となる。必要とする人へ届く広報が重要。
- ・学び直しのスタッフのほか、学ぶための生活を支える人、生活支援が必要。これはセンターには相談員がいる。
- ・センターの強味の1つはスペースがあること。居場所としての機能が発揮できること。センターは工夫次第で、安心して集うことができるスペースを確保できるのではないかと。
- ・行政機関や地域企業との連携は、民間より取りやすい。例えば、若者サポートステーションなどとの情報交換会の開催等の可能性。
- ・慈有塾の受講者から、世の中にどのような職業があるのか十分な情報がなく、多様な職種や働き方があることを教えてくれる機会が欲しいとの意見があった。
- ・民間団体で実施している学び直し事業の多くは、旧来の女性職種（保育士、看護師等）を将来の目標とする場合が目立つ。仙台の事業のようにセンターではもっと職業の幅を広げたキャリアのロールモデルを提案することができるのではないかと。
- ・若者サポートステーション、生活困窮者支援センター等に訪れるのは男性が多い。女性専用の窓口としてのセンターの存在。そのためには窓口対応者に相応の知識と対応力が必要となる。
- ・シングルマザーなど子どもがいる場合、託児だけでなく、子どもへのキャリア支援も同時に行うことも考えられる。たとえば「インクルいわて」では、子ども食堂に企業から人を呼びキャリア教育もしてもらっている。
- ・具体的なモデル案を構築するにあたり、基本の目標はどこまでとするかも課題。高卒認定試験の取得をゴールとしているところもあるが、一方で“読み・書き・そろばん”といった基本的な国語力、計算力などの力をつけることが大事と考えているところもある。

(3) 第3回検討会について 17:30～17:50

開催日：10月21日（月）15:00～17:00

内容：プログラムのモデル化の検討、モデル案の作成

有識者ヒアリングは実施しない。かわりに第4回に、モデル案へのコメントーターとして 湯澤直美さん（立教大学教授）に依頼。

(4) 研究協議会について 17:50～18:00

① 研究協議会基調講演

・基調講演候補者

検討会2として、湯澤直美さんを推薦。以下の開催日で登壇を打診。

10/4開催の検討会1でも検討。

② 開催日、

・候補日：2月10日（月）、13日（木）、17日（月）

(5) 次回以降の予定について

・第3回検討会 プログラムのモデル化の検討、モデル案の作成

・第4回検討会 有識者（湯澤直美）からのコメント

上記をもとにプログラムのモデルの作成

湯澤先生の予定によっては、第4回より前にこちらから訪問